HIE ROOM 冷えルーム

スポットクーラー運用 Cooling ハウス

冷えルームテント

組立説明書

【2605】保存

この度は、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくご使用していただくことで長持ちいたしますので、
本品を組立てる前に部材表の裏面、
『安全上のご注意』をお読みください。

幅：約 135 ㎝　奥行：約 214 ㎝
高さ：204 ㎝（入口を正面とした場合）

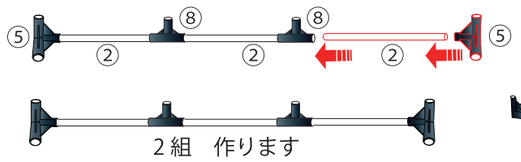
＊冷えルームテントは、専用スポットクーラーとの運用を前提としていますが、他のスポットクーラーでも、運用いただけます。＊

No	品　名	数	規　格	形　状
①	下部間口用パイプ	2	130 TTcm	
②	奥行き用パイプ	21	68 TTcm	
③	柱用パイプ	16	98 TTcm	
④	天井部間口用パイプ	8	63.5 TTcm	
⑤	樹脂ジョイント	8	BJ05	
⑥	樹脂ジョイント	4	BJ06	
⑦	樹脂ジョイント	6	BJ07	
⑧	樹脂ジョイント	10	BJ09	
⑨	専用ビニール	1	一体加工	

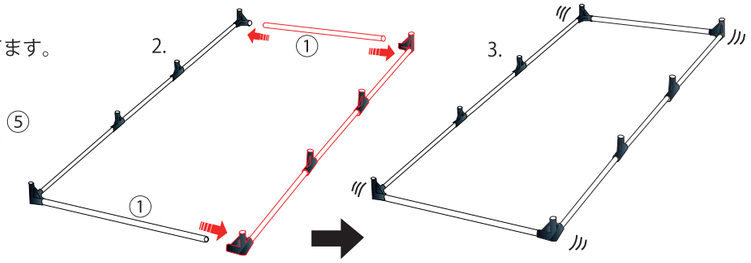
必要な工具
ゴムハンマー　樹脂ジョイントとパイプの差込みに
カッターはさみ　カット用に

1 ベース部分を組立てます。

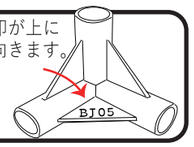
1.②に⑤を取付け、⑧に差込み、片方のベースを組立てます。



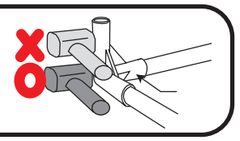
2 組　作ります



※刻印が上に向きます。



※ジョイントを各方面から、軽く叩いて、パイプを奥までしっかり差込んでください
ジョイントの上部を叩くと、破損する恐れがありますので、ご注意ください。



2. 組んだ各片方ベースに、①を差込んでベース部をつくります。

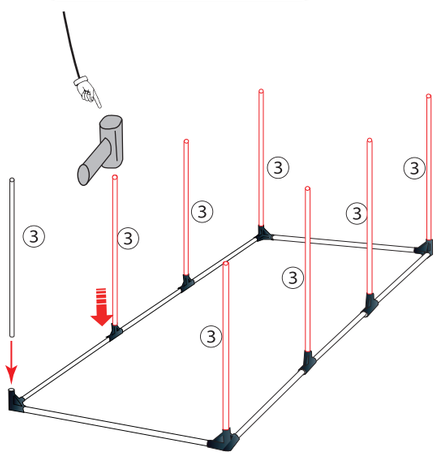
3. 各樹脂ジョイントに、しっかり差込まれているか確認してください。

2 ベース部分に下柱パイプを建てます。

1.組んだベース部の各ジョイントに、③を差込みます。

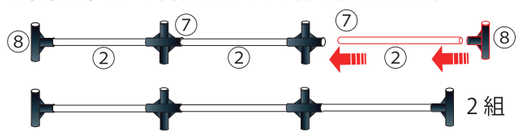
※ジョイントの奥まで、パイプをしっかり差込みます。

パイプの先が潰れないように軽く叩いてください。



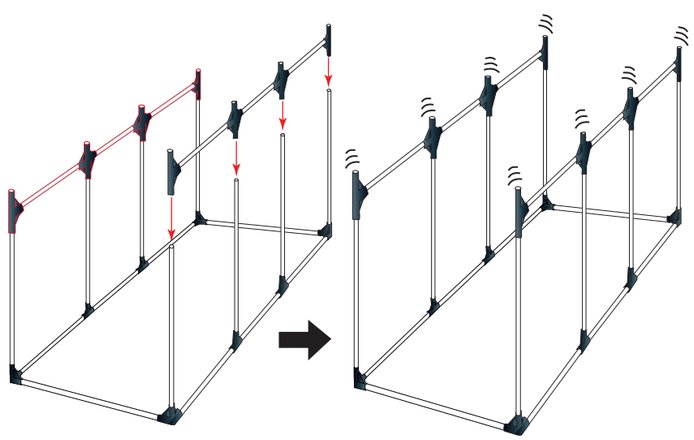
3 下柱パイプに、中間横通しパイプを取付けます。

1.⑦⑧と②で、中間横通しパイプ部を組立てます。



2 組　作ります

2.下柱パイプに、各樹脂ジョイントが奥まで、しっかり差込まれるように取付てください。

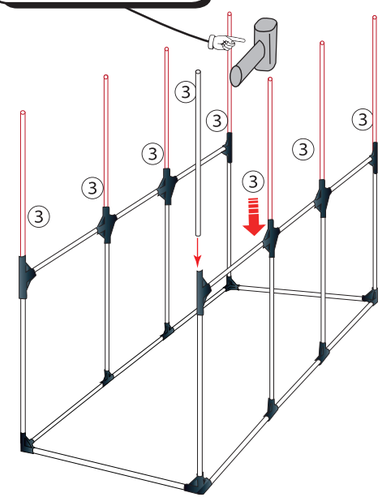


4 中間横通しパイプの上に上柱パイプを建てます。

1.中間の各ジョイントに③を差込みます。

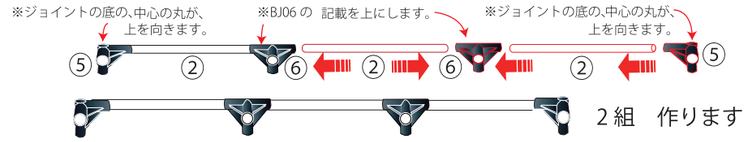
※ジョイントの奥まで、パイプをしっかり差込みます。

パイプの先が潰れないように軽く叩いてください。



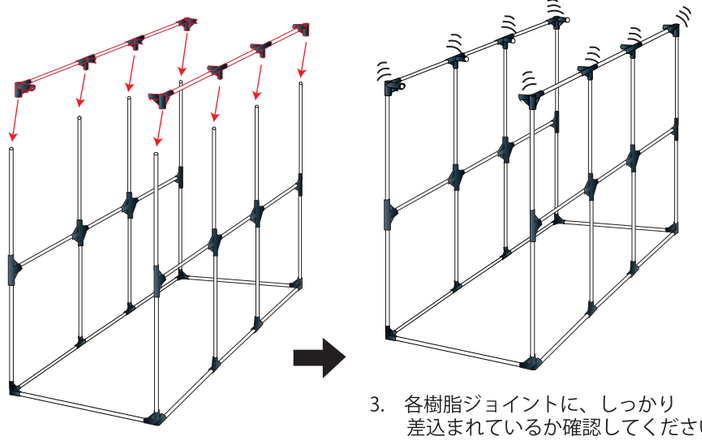
5 上柱パイプに　上部横通しパイプを取付けます。

1. 上部横通しパイプを、組立てます。



2 組　作ります

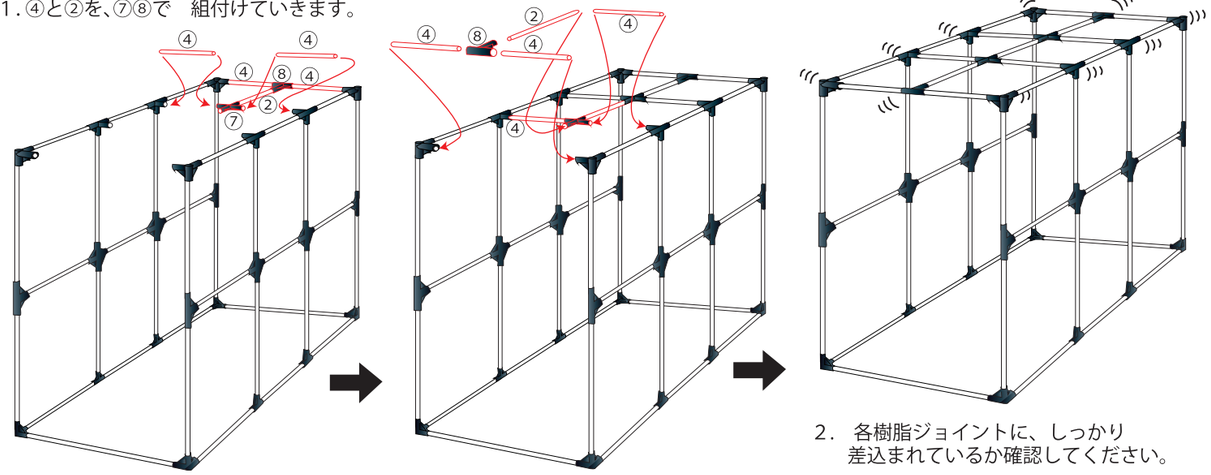
2. 4 で建てた上柱パイプの上に、上部横通しパイプを　取付けていきます。



3.　各樹脂ジョイントに、しっかり差込まれているか確認してください。

6 天井部を組立ていきます。

1.④と②を、⑦⑧で　組付けていきます。



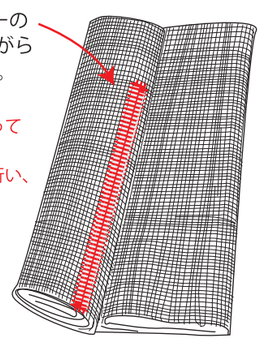
2.　各樹脂ジョイントに、しっかり差込まれているか確認してください。

7 糸入りビニール天幕を被せていきます。

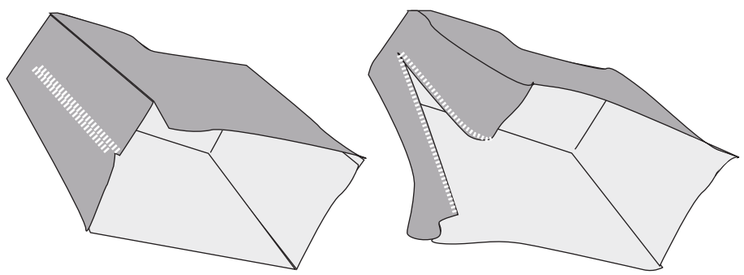
＊幕は、大きく、比較的重量物になりますので、複数名での作業をおススメします。＊

1.⑨は、ファスナーの位置を確認しながら広げていきます。

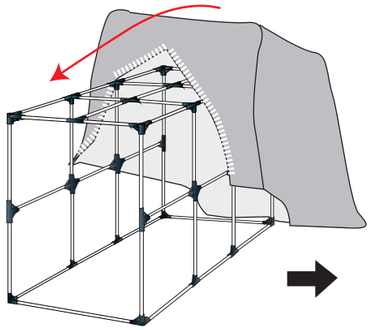
＊広げる際は、前もって敷物などを敷くか、凹凸のない平地で行い、引っかかって破れないようご注意ください＊



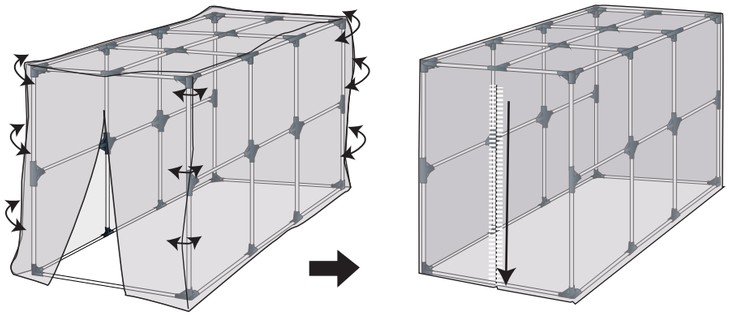
2.⑨を広げ、形を確認し、ファスナーを空けておきます。



3．骨組後方より、⑨は空けたファスナー側から被せていきます

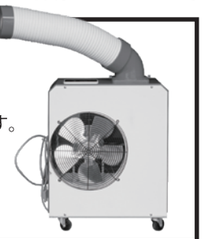


4．ビニールを整え、四方を合わせ、ファスナーの開閉を確認してください。



8 スポットクーラーの設置について。

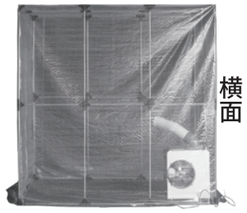
冷えルーム専用スポットクーラー

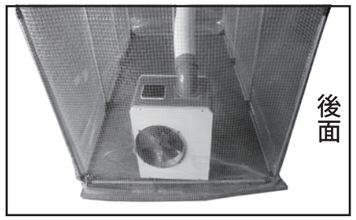


運用の場合

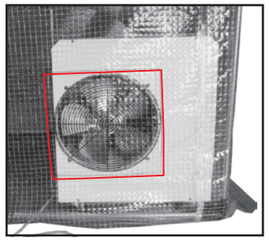
- テント内にて可動させます。
- 本体換気ファン部を、ビニールに寄せて置き、ファン部に合わせて、ビニールを切り取ります。

1．テントの設置場所、それに応じてのスポットクーラー設置位置をお決めください。

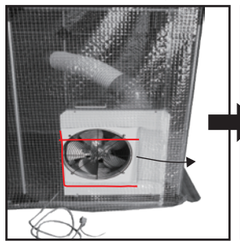


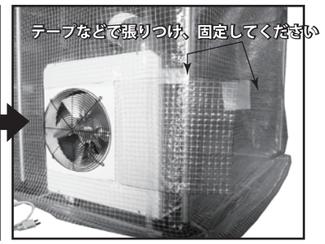


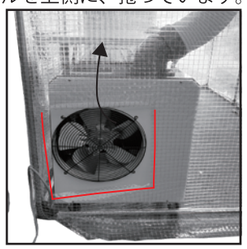
2．換気ファンの外周に合わせ印をつけてください。



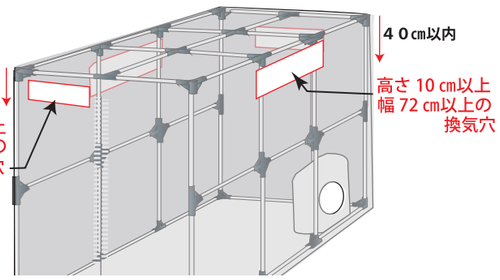
3．捲り方向だけの辺を残し、三方辺を切ってください。
＊下図はビニールを右側に。　右下図はビニールを上側に、捲っています。＊







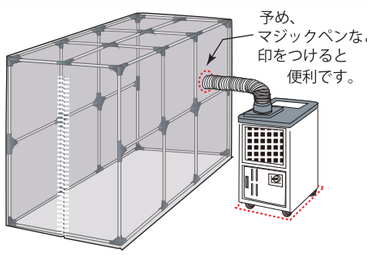
4. 四方上部に換気穴を切り取ります。



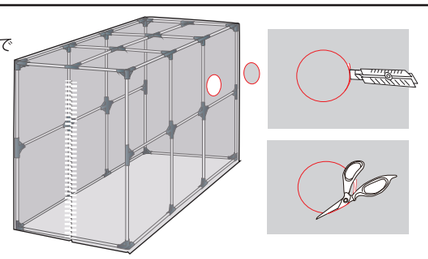
- 一時の仮設休憩所として運用を想定としています。
- 常設的な建物として 常時での作業等は、 想定していません。
- 燃料を燃やす暖房器具のご使用はできません。
- 電気機器（ 発火の可能性があるもの）を内部で運用の際は本製品 四方上部から40㎝以内に その面の 幅の長さ 3 分の1以上の長さで 高さ10㎝以上の、 換気穴を切り取ってください。
- 庫内運用に関しましては、 各地域の消防法の条例により違いがありますので、 運用事前に、 各消防署様に、 ご確認ください。

※防炎ビニールとは、 燃えないのでなく、 燃え広がりにくいビニールになりますので、 火が直接当たった場合、 くすぶったり、 多少の変形などします。
火気の取り扱いには、 十分にお気をつけください。

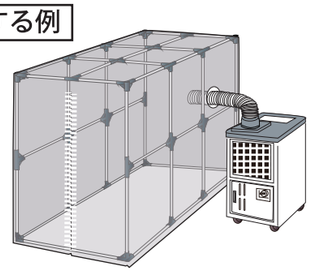
他のスポットクーラーを運用する場合：スポットクーラーを外側に設置する例



1．テントの設置場所を決め スポットクーラーの設置場所、 ダクトホースを通す位置を確認します。



2．付けた印に、カッターなどで切込みを入れ ハサミなどで、切り抜いてください。
＊刃物を用いたケガ等にお気を付けください＊



3．スポットクーラーを 設置場所に戻し、ダスト ホースを差込んでください。
＊糸入りビニールなので、裂けにくいですが 乱暴な差込みには、お気をつけください。

安全上のご注意

保存版 平成30年8月改訂版

この「安全上のご注意」では、お客様や人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にご使用頂く為に守って頂きたい事項を示しています。
ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、内容をご理解の上、正しく安全にご使用頂きますようお願い致します。

⚠警告

この項目の内容は「人が死亡または重傷※1を負う可能性が想定される内容」を示しています。
※1「重傷」とは、失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、または治療に入院や長期通院を要するものを指します。

⃠禁止 固定を行わない設置
弊社取扱製品は、設置にはすべて「支柱の埋込」または「ベースに鉄筋杭やアンカーの打ち込み」による固定が必ず必要となっております。
固定を行わずに置くだけの設置をすると、強風時などに倒壊・吹き飛ばされるなどの事故の原因となります。必ず固定して設置してください。
置いただけの設置は絶対に行わないでください。
また、設置場所がコンクリート・アスファルトまたはタイル等の場合や設置場所の地面が固く締まってる場合、アンカーを打つ場所に、先に下穴を開ける必要があります。これらの場所に固定用アンカーの下穴を開ける場合は、振動ドリルなどの工具が必要になります。こういった工具をお持ちでない場合は、お近くの工務店、エクステリア業者等にご相談して設置をしてください。

⃠禁止 建物の屋上・テラス・ベランダ等の高い場所への設置
これらの場所は固定が行えないだけでなく、強風が吹いた場合、製品が落下したり吹き飛ばされたりして、人が死亡または重傷を負ったり、周囲に損害を与えるおそれがあります。
このような場所には絶対に設置しないでください。

⃠禁止 風が強い場所への設置
強風(ビル風・川風・海風・高い場所等)にさらされる場所を避けて設置してください。このような場所では周囲よりも強く風が吹くことがあり、思わぬ損傷を受け、事故につながるおそれがあります。また、設置場所によっては、付属の固定クイでは、強度が不足する場合がありますので別途補強を行って設置してください。

⃠禁止 積雪・落雪がある場所への設置
豪雪地帯のような毎年積雪のある場所では、雪の重さによって製品が損傷(シート・ネットが破れる・倒壊等)するおそれがあります。また、屋根など高い所から雪が落ちる場所へ設置すると、落下した雪の重さに耐え切れずに製品が損傷・倒壊するおそれがあります。

⃠禁止 傾斜地・凹凸のある場所・軟弱な地盤の場所への設置
傾斜のない平坦な場所に設置してください。傾斜地・凹凸のある場所には安定して設置できません。また、地盤が軟弱なところでは、固定を行えない為設置できません。

⃠禁止 火の影響を受ける場所への設置
焼却炉の付近等、火気の近くには設置しないでください。

⃠禁止 幹線道路・線路の付近への設置
強風が吹いた場合に付近の自動車や列車に衝突して重大な損害を与えるおそれがあります。

⃠禁止 変電所・高圧電線付近への設置
強風が吹いた場合、吹き飛ばされた部材が電気施設に重大な損害を与えるおそれがあります。

⃠禁止 その他危険な場所への設置禁止
上記以外でも危険があると思われる場所には絶対に設置しないでください。

⃠禁止 悪天候時の設置・補修作業
悪天候時の組立・補修作業を行わないでください。災害の原因となるおそれがあります。

⃠禁止 素手での設置・補修作業
組立・補修作業を行う時は、安全の為必ず手袋をはめて作業をしてください。

⃠禁止 シートを張る作業について
弊社製品本体のベースを固定してから、シート・ビニール・ネット等を張ってください。ベースを固定せずにシート・ビニール・ネット等を設置すると本体が移動することで、シートやヒモが緩むなどの理由で、製品が損傷し事故の原因となるおそれがあります。

⃠禁止 目的外の使用禁止
弊社取扱製品は各製品の使用目的を守ってご使用ください。他の用途には絶対に使用しないでください。特に子供の遊び場等には絶対に使用しないでください。

⃠禁止 火気禁止
弊社取扱製品の付近や内部では絶対に火気(コンロ・石油ストーブ・バーナー・溶接機等)を使用しないでください。パイプ車庫前後幕付きご使用の場合は、前幕を開けるなどして換気を十分に行い、マフラーがシートに近づきすぎないようにご注意ください。

⃠禁止 危険物の貯蓄禁止
危険物(可燃物・劇物・薬物・毒物・ガソリン・ガスボンベ・シンナー・塗料等)を保管しないでください。また、これらの危険物を積載した状態での車両の保管もおやめください。

⃠禁止 換気に注意
内部でエンジンのアイドリングを行わないでください。一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、揮発性の薬品やガス等を使用しないでください。内部で発電機やポンプ等、エンジンを使用した場合、送風機等を使い、換気を必ず行ってください。

⚠注意

この項目は「人が傷害※2を負う可能性が想定される内容や、物的傷害※3の発生が想定される内容」を示しています。
※2「傷害」とは、治療に入院や長期通院を要さないけが・やけど(高温・低温)・感電等を指します。
※3「物的損害」とは家屋・家財及び家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

⃠注意 パイプに物を掛けない。
構造材のパイプに物を掛けたり、ぶら下がったり、物を吊るす等余計な力・重量を加えないでください。

⃠注意 操作に関するご注意
開閉できる幕がある場合は、車の出し入れ時以外は必ず閉めてください。幕が開いていると、風に吹かれて車庫内部の車を金具等で傷つける恐れがあります。

⃠注意 強風の場合
強風時は天気情報などを参考に、前もってシート・ビニール・ネット等は外し、まとめてロープ等で骨組みに止めてください。シート・ビニール・ネット等をそのままにしておくと、破損したり、フレームに損傷を与える恐れがあります。台風等で災害が予想される時は、パイプ車庫・パイプ倉庫・ビニールハウス・ゴルフ練習ネット等、固定して設置してある場合でも、シート・ビニール・ネット等を外し、畳んで収納してください。

⃠注意 雪が降っている場合
雪が積もった場合は、随時雪降ろし作業を行ってください。シート上に雪が積もっている場合は、雪の重さで倒壊する危険がありますので、内部には絶対に入らないでください。内部に入る前に、必ず雪降ろしを行ってください。

⃠注意 仕様変更
商品改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

■メンテナンス(保持管理)について

弊社取扱製品はいくつかの点を定期的にメンテナンス(保持管理)を行う必要性があります。長期間メンテナンス(保持管理)を行わずに使用を続けると不調の原因となる場合があります。製品を設置された後は、危険防止措置を含むメンテナンス(保持管理)をお客様の責任において行ってください。

⃠注意 アンカー・固定ひもの点検
弊社取扱製品を固定しているアンカーがぐらついたり抜けている箇所がないか、また固定ひもが切れたり、緩んだりほどけている箇所がないか、定期的に確認してください。アンカーや固定ひもに問題を見つけた場合は、早めに補修を行ってください。放置すると、シート・ビニール・ネット等が強風時に飛ばされる恐れがあります。

⃠注意 シート・ビニール・ネットの点検
弊社取扱製品のシート・ビニール・ネット等に破れたりほつれたりしている箇所や、裂けている箇所がないか定期的に確認してください。シートの破損を放置すると、破損箇所が大きく広がったり、シート・ビニール・ネット・フレームに悪影響を与える恐れがあります。

⃠注意 降雨後のお手入れ
雨が降った後などシートに水がたまった場合は、シート上に水がたまらない様に、シートをピンと張るように張り直してください。水がたまったままにすると、フレームが倒壊する原因になる恐れがあります。

⃠注意 交換用部材の発注について
交換用シート等のご注文は、それぞれの型番でご注文ください。部材の型番は、部材表・組立説明書に記載してありますので大事に保管してください。

NAN-EI CORPORATION 製造発売元 南榮工業株式会社

専用ビニールについて

＊替えビニールの単品販売もありますので、本製品をお買求めいただきました販売店様に、お問い合わせください。

＊ビニール自体の、くっつき防止のため、でんぷん粉を付着させています。本体に取付け後は、拭き取っていただくと、ビニールの透明感が良くなります

ファスナーに関しまして

ビニールを持ち、引っ張る感じで広げて、スライダーを移動させると、スライダー部に大きな負担をあたえます。スライダー横部分に大きな負担がかかると、スライダーの口幅が広がり、エレメントを閉じる力を失います。また、分解するおそれもありますので、左図の行為は行わないでください。